

令和5年9月23日(土)

5債総離国改第3-2号

一般国道384号道路改良工事(4工区)

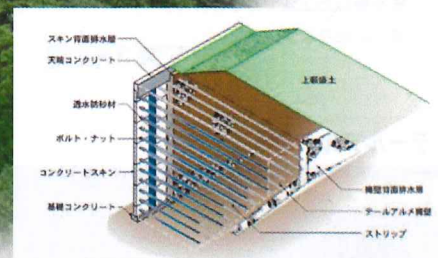
【テールアルメ工法】



親子現場見学会



自社所有phantom【ドローン】より



発注者：長崎県五島振興局上五島支所

特定建設業 **大宝建設株式会社**

DAIHO CONSTRUCTION

品質方針

「顧客第一主義」

<http://www.daihokensetsu.com/>

今すぐcheck✓



大宝建設欄

検索

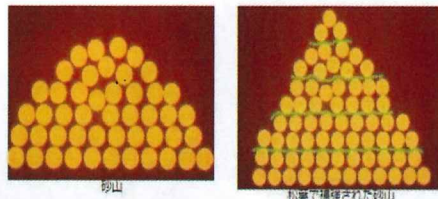
◎工事概要

- ・ 工期：令和5年9月4日～令和6年9月17日【380日間】
- ・ 道路土工（掘削工）・・・1,950m³【大型トラック約355台分】
- ・ 道路土工（盛土工）・・・2,990m³【大型トラック約544台分】
- ・ 補強土壁工（テールアルメ工法）・・・1,424m²
補強土壁で使用する土量は13,000m³【大型トラック約2364台分】
- ・ 排水工・・・80m
- ・ 舗装工・・・70m²
- ・ ガードレール設置工・・・20m

テールアルメの歴史

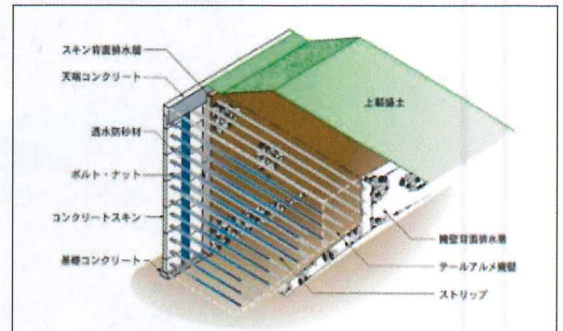
テールアルメ工法は、1963年にフランスのアンリー・ビダール（H. Vidal）氏により考案された補強土壁工法です。日本では1972年に日本道路公団の中央自動車道で初めて採用されました。補強土の中で一番歴史を重ねた工法であると言えます。

アンリー・ビダール（H. Vidal）氏は砂山に松葉を差し込むことにより、ただの砂山より高い砂山が作れる事を発見しました。その後この問題を考えて続けた氏は、『土と補強材とで構成され、粘着力のない砂で出来た盛土中に補強材を順次層状に埋め込むと、補強材と土の間に働く摩擦力により粘着力が加わったような盛土材料となる。』という結論に達しました。この性質を利用して構築された盛土をテールアルメと名付け工法が誕生しました。



テールアルメとは？

テールアルメ工法とは、フランスで1963年に開発された、鋼材を使用して土を補強し、高い垂直盛土を構築する工法です。垂直盛土が構築可能な為、土地の有効利用が実現できます。日本では、導入以来様々な改善改良が加えられ一般工法として定着しており、補強土の中で一番歴史を重ねた工法であると言えます。採用件数は4万件、面積規模は約1,100万㎡（※2019年時点）になります。



テールアルメの特徴



土地の有効活用が可能

垂直盛土の為、最低限の用地幅ですみ、土地の有効活用が可能。



容易な施工

規格化されたプレハブ工法の為、熟練工や特殊技術不要。



広範囲な地盤条件に対応

フレキシブル構造により基礎地盤への荷重は等分布、より広範囲な地盤条件に適用可能。



騒音を抑えた構築が可能

規格品の組み合わせが大半の為、静かな工事環境を実現。



幅広い適用性

様々な環境用途に併せた対応可能。
カラースキン・デザインスキン・多段積み・埋害対策など。

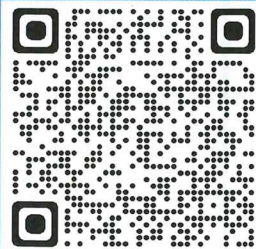


協会認定工場の規格品

部材は、日本テールアルメ協会認定工場で作られる規格品。

テールアルメ

検索



補強土壁について詳しく見れるよ！上のQRコードを読み取ってみてね！

テールアルメの活用シーン

テールアルメは、幅広い適用性を持ち、あらゆる場所で使用されています。



宅地造成



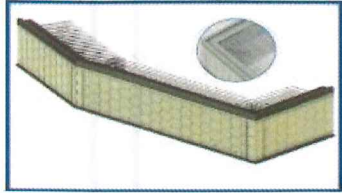
河川砂防



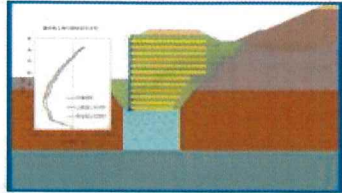
ごみ処分場



工事用道路・仮設構台



BIM・CIM



補強土壁の安定解析



調整池



海辺



STEP.1 基礎整地



STEP.2 スキン設置



STEP.3 補強材設置



STEP.4 土のまき出し



STEP.5 転圧



STEP.6 完了

一般国道384号道路改良工事(4工区)

大寶建設株式会社

【工事概要】

工事延長：L=0(211)m W=5.5(7.0)m

盛土工：V=3,000m³

補強土工：A=1,424m²；H=3.2m~12.6m

道路改良工事が全て完成することで
快適な交通の安全と時間短縮が図られます

完成イメージ図



ありがとうございました。

親子見学会説明資料 終わり
一般国道384号道路改良工事(4工区)